

かめっ子だより No.058

令和8年6月23日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

「この人たち誰!？」大教大の学生が教職入門実習にきました

18日(木)、大阪教育大学1回生の学生12名が、亀井小学校へ「教職入門実習」にきました。「教職入門実習」とは、大阪教育大学の講座の1つで、1日学校に滞在し、教室に入って児童観察や教職理解を行うものです。目的としては、

- ①これまでの教えられる立場から教える立場へ視点を転換する。
- ②子どもに関わり、教師の仕事に触れることで、学校現場を知るための第一歩を経験する。
- ③学校インターンシップなどこれからの学修課題を明確にする。

と、されています。また、3回生での教育実習につながっていく、重要な学修の機会と位置づけられています。

各学年2クラスに1日実習生として入り、先生としての仕事、子どもたちの様子を観察してもらいました。もちろん実習生は学生ですので、授業はしません。その分、進んで話しかけたり、一緒に遊んだり、掃除をしたりと、たくさんの関わりを持ってもらいました。

学生の皆さん、久しぶりの小学校はいかがでしたか？ この日の経験が、教職のやりがいや意義を考えるきっかけになれば幸いです。子どもたちは、とても喜んでいましたよ。

